

在来線、新駅を核に — 若槻・古里合同で研究会発足 —

若槻、古里両住民自治協議会は、平成 26 年度末の北陸新幹線金沢延伸に伴い JR 東日本から経営分離される長野以北並行在来線の活用を図るため、2月18日、長野市東北部並行在来線活用研究会を設立した。

研究会では、北長野・三才駅間が優先候補地に決まった新駅の在り方や同駅を核とする新たなまちづくり、三才駅及び並行在来線の利用促進策などについて研究を行うこととし、研究会には新駅部会と三才駅・並行在来線部会が設置された。

若槻地区の研究会の会員は、沿線の稲田、徳間、東徳間及び上野の正副区長と北部幹線建設協議会の稲田徳間部会長で構成し、役員は、座長に古里の倉

島章会長、副座長に大塚武雄コミわか会長、新駅部会長に金子伸雄区長部長、同副部会長に荒木邦夫区長部副部長が指名された。



若槻地区新年祝賀会 — 今年も和気あいあいと —

若槻地区恒例の新年祝賀会が1月3日、コミュニティセンターで 190 名余が集まり行われた。

消防団若槻分団音楽隊によるラッパ吹奏で開幕し、徳間区神楽保存会の獅子舞も披露。丸山昭美前コミわか会長の乾杯により祝宴が開始され、和気あいあいの中で新春を祝った。



成人式開催

「社会の重要な一員として」

若槻公民館など市内 8 公民館合同成人式が、1月13日ホクト文化ホールで晴れやかに開催された。「おしゃべり会」では、特別参加の恩師や友達と旧交を温めていた。

北部中恩師の一言「苦しいことにも難しいことにも負けずに、頑張ってほしい」、新成人の一言「社会の重要な一員になれるよう頑張ります」、それぞれ笑顔で語っていた。

式典の前には、若槻地区の三登山太鼓による演奏があり、会場中に拍手と歓声が響きわたった。8 公民館合計で対象者 1,481 人中、参加者は 1,217 人。若槻地区では対象者 193 人中、参加者 145 人(75%)

だった。来年は1月12日(日)に本年度と同じホクト文化ホールで開催する予定。

